

発達凸凹支援 地域でサポートする協働での取り組み



NPO法人こども未来ラボ

2019.5.21

特性(凸凹)って？

おしゃべりは上手なのに ……………

冗談が通じない

素晴らしい記憶力なのに ……………

国語の音読が苦手

算数は得意なのに ……………

漢字を覚えることが苦手

昆虫・鉄道については博識なのに…

同年齢の子ともとのトラブルが多い

活発で人気者なのに……………

授業中に立ち歩いてしまう

困っている
子、って？

あまいにも行動や言動が
適切な範囲を超えているた
めに



注意されがちな子どもたち

必ずその言動、行動には「理
由」があります！その理由（特
性）を知る事は支援に繋がり、



生活に困る事だけ「工夫や
支援で乗り切る！」

工夫や支援で乗り切る法
見方が変われば味方になれる！

ペアレントプログラム
(特性理解の手法を学ぶ)

ペアレントメンター

(発達に凸凹がある子を育てた経験を持つお母さんが今、困り感を抱えるお母さんたちに前向きな子育てに繋がるサポートをする活動)

H29、30年度 小平市ペアレントプログラム概要

期間(6回連続講座)

29年度:9月2日~11月25日

30年度:9月15日~11月24日

対象者

小平市在住で発達が気になる
5~8歳の位の子どもをお持ちの保護
者の方(全6回参加可能な方)

講師:藤原里美 氏

保護者参加者

29年度:25家族

30年度:21家族

支援者参加者

29年度:29名

30年度:17名

(幼稚園、保育園、小学校)

ペアレントプログラムの目標



ポイントは「行動」で
考える



キーワード「褒める」
親子の良い関係作りに効果
抜群！



プログラム後
地域で子育て～お母さん同士の
仲間づくり



その子の特性を知ると 親子の関係性は変わります！

叱る母・叱られる子

「何回言わせるの、早くしなさい！」

「お母さんはいつも怒ってばかり・・・」

褒める母・褒められる子

「今、やろうとしてたのね、すごい～
えらいわねえ～！」

「お母さんの笑顔、大好き！」

ペアレントプログラムやメンターとの出会い
で
「子どもの特性」を理解し、伝える伝え方に変換！

官民協働で行って来た支援例



ペアレントプログラム

「親カフェふらっとwith メンター」開催

「小平ハートキッズ」フットサル開催

実際のメンター活動、って？

発達凹凸の育て難さに悩むお母さんたちのために

実際に凹凸のある子育てしてきた先輩お母さんたちが

**傾聴 / 共感(ウチもそうだったのよ、たいへんよね、わかる、わかる)を通じて、
経験から得た知識や情報を提供します。**

みんなで繋がる地域の子育てに「ひと役、買います！」のボランティア活動

まずは知ってもらおう～できるだけ多くの場所に種を！



* 楕円は活動に繋がった機関

市がペアレントメンター活動の関わるメリット

親の会と繋がることのできる

- 顔が見える関係
- 協力関係の構築

親の顔が見える

- 困り事を共有
- 市の施策への展開

支援機関との連携強化

- メンターを通じた支援の広がり
- トスカとの協力関係構築



ペアレントプログラム

- 保護者、支援者「とても満足」「満足」が出席者全体の90%

保護者に関して：

子どもを褒める回数が増え、良い関係が作りやすくなったとの回答が87%

プログラムで得た手法を実践することに関してはやや難しさはあるが、継続に積極的な傾向が見られた。

ペアレントメンターへの感想

- 心配事を全て話せてスッキリしたと同時に情報が得られ、前向きになれた。
- 同じ悩みを持つ先輩ママの情報で心が軽くなった。
- 先の見通しが持てることは心強い存在。
- 体験談や地域の情報が得られて気持ち楽になった。
- 一人で悩まなくていいんだ、という気持ちが持てて、とても安心した。
- 医者に言われたことでとても傷ついた内容が先輩お母さんの経験談で救われた気持ちになった。
- 子育てが前向きに頑張ろうという気持ちになれた。

(他27件)

親カフェふらっとwithメンター 12回
個別相談/講座など 20回